吹上 大汝牟遅神社の流鏑馬

【所 在 地】日置市吹上町中原東宮内 大汝牟遅神社((大汝牟遅神社)流鏑馬保存会)

【種 別】県指定無形民俗文化財

【指定年月日】昭和56年3月27日



その昔,島津忠良が,加世田城主を攻める時,大汝牟遅八幡宮に,加世田城攻略が成功 したら毎年流鏑馬を奉納するとの願をかけ,天文6(1537)年10月25日,家臣に命じて 流鏑馬を奉納したのが始まりとされる。

以前は,毎年旧暦10月25日の大汝牟遅神社の秋の大祭に奉納されていたが,現在は11月23日の勤労感謝の日に奉納される。神社の前の馬場に立てられた3本の的を,馬を走らせながら馬上の射手が弓で射る方式は他と変りがない。

射手は,宮下家が代々つとめてきたが,永禄3(1560)年,宮下家に不幸があって宮内家が代って射手をつとめて以来,宮下家あるいは宮内家の世襲によって継続されていた。しかし,現在は保存会が結成され,地域の人々によって伝承されている。昔は両家の屋敷内に籠所が設けられ,射手は2週間みそぎをし,神社に参拝して練習したものである。

当日は,早朝に吹上浜で塩浜入りをして,神前での祭典のあと浜下りをする。神社に帰って魔除けの祈禱(アゲウマ)をし,九字(九つの文字を唱える祈り言葉)を唱えながら指で空を切って,別当がまえもって祓っておいた馬場に出て馬を走らせ,3つの的を次々に射る。